北の住まいるタウン

北の住まいるタウンレポート Vol.1

令和５年度
北広島市事例見学ツアーの開催報告

北の住まいるタウンの取組として、令和５年度は北広島市で事例見学ツアーを開催しました。

令和５年３月に北海道ボールパークＦビレッジが開業し、新球場を核として宿泊施設･マンション･商業施設･認定こども園など様々な機能が集積したコンパクトなまちづくりに取り組む北広島市。

農福連携（農業と福祉の連携）に取り組む竹内農園を見学した後、Ｆビレッジ内の様々な施設を視察し、各現場で取組内容などをお聞きしました。

日 時

令和５年８月31日（金）
10:00〜16:30

参加者

29名

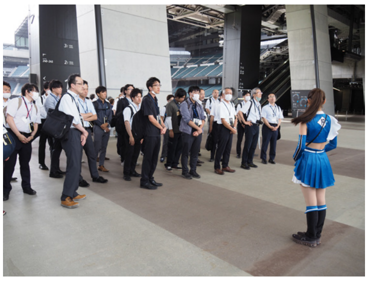
ガイダンス

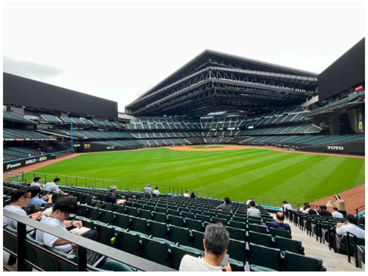
北広島市と竹内農園からそれぞれの取組を紹介

合同会社竹内農園

適材適所の働き方ができる環境をつくり福祉と連携した農業経営

エスコンフィールド HOKKAIDO





ファイターズガールの案内でスタジアムツアー

リポビタンキッズPLAYLOT by BørneLund

ショップとカフェを併設した屋内と屋外のあそび場にプレイリーダーも常駐

クボタアグリフロント

“食と農業”の魅力や可能性を学ぶ農業学習施設

キッズラボ ボールパーク こども園

農園を利用した食育や球団と連携した保育を行う、幼保連携型の認定こども園

PICK UP!

エスコンフィールド　HOKKAIDO

アジア初の開閉式天然芝球場。365 日営業し、試合が無くても入場できます。敷地面積 5 ha、収容人数は 35,000 人、建物中層部にテラスを複数作るなど、周辺環境との調和を第一に考えています。360 度回遊型のコンコース、フィールドが一望できる球場内ホテル･天然温泉、遊び場やショップ・レストランなど試合の無い日も楽しめる場所が盛りだくさんです。

北広島市と球団はパートナー協定を結び、学校教育との連携、健康づくりとの連携、市内照明等へのファイターズフラッグ掲出など様々な連携事業を推進しており、F ビレッジのエリアマネジメントを担う球団とともに、官民連携のまちづくりを進めています。

合同会社竹内農園

2014 年の就農時から農業と福祉の融合を目指して農業経営を開始。適材適所を念頭に置き、多様な人たちがそれぞれに合った働き方ができるように環境づくり・仕組みづくりを行っています。

そのため、多種類の野菜を栽培し、作業を細分化。障がい者それぞれの得意な部分を見つけて作業の幅を広げたり、マニュアル整備や改定を通して、作業効率の向上を図っています。

キッズラボ ボールパーク こども園

３～５歳児対象の幼保連携型認定こども園。チームラボの設計集団であるチームラボアーキテクツが園舎を設計し、とことん遊び込める工夫がいっぱいです。クボタアグリフロントの農園を利用した食育や、球団とこどもたちとの交流など、球団と提携した保育を行っています。

「北の住まいるタウン」の取組の内容についてまとめたガイドブックをWEBでご紹介しています

発行：北海道（建設部 建設政策局 建設政策課）電話 011-231-4111　内線 29-671（担当：上山）

編集：「北の住まいるタウンに係る普及啓発業務」受託事業者：株式会社石塚計画デザイン事務所

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/kks/kitasuma_top.htm

2023 年 10 月発行

facebookページもご覧ください
「北の住まいるタウン」